

研修員's VOICE

Vol. 5

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



氏名: Mr. DILLON Tadis Yoel (タディスさん)

国名: トリニダード・トバゴ共和国 

コース名: カリコム諸国における持続可能な
廃棄物管理

滞在期間: 2017年8月2日～2017年9月16日

トリニダード・トバゴってどんな国ですか？

カリブ海の南端、南米ベネズエラの近くに位置するトリニダード島とトバゴ島からなり、アフリカ系、インド系、混血系、ヨーロッパ系、中国系住民が共存する多種多様な宗教や文化を持つ島嶼国です。

石油を入れるドラム缶から誕生した「スティールパン」という打楽器は、20世紀最後の発明楽器と言われ、政府により国民楽器として承認されています。毎年首都ポートオブスペインで開催されるカーニバルは世界三大カーニバルの一つで盛大に催されます。



華やかな衣装で2日間街をパレードするカーニバル



福岡方式の現場実習

JICAでの研修はどうですか？

日本とカリブ海諸国の廃棄物管理の知識と技術を学んでますが、日本では「もったいない」の概念が全てに組込まれ、捨てるものはほとんど無く、市民にゴミの分別が浸透しているなど、廃棄物管理に市民の参加と協力があることに大変感銘を受けました。また福岡方式と呼ばれる環境に配慮した埋立処理技術を学びましたが、将来自国の最終処分場にもこの技術が適用されると思いますし、今後子ども向けのリサイクル教育にも取組んでいきたいです。

日本語が上手だと伺いましたが？

昨年、東京への旅行の準備としてポッドキャストを利用して日本語の勉強を始めました。その後、週に1回スカイプを通して日本語講師の個人レッスンを受講するようになり、現在では日本のエンターテインメントの視聴も楽しんでいます。

私が日本語で話すすと多くの人は驚いて興味を持ちます。おかげで日本の友人もできました。まだ日本語が上手とは言えませんが、2年後には流暢な日本語を話すという目標を立てて励んでいます。



空手会館での空手体験も楽しみました